

30102 トンネル建設工事業における年齢別事故の型別死傷災害発生事例数（2006-2017年）

		1	2	3	4	5	6	
		19歳以下	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	計
1	墜落・転落		2	7	4	9	12	34
2	転倒			4		4	4	12
3	激突		1	2	3	3	1	10
4	飛来・落下		1	11	7	9	1	29
5	崩壊・倒壊		1	8	6	4	1	20
6	激突され			7	5	3	2	17
7	はさまれ巻き込まれ	1	12	10	10	10	3	46
8	切れ・こすれ		1		1	2	1	5
9	踏抜き				1			1
10	おぼれ							
11	高温・低温物との接触		1	2				3
12	有害物との接触			1	1	1		3
13	感電	2						2
14	爆発							
15	破裂							
16	火災							
17	交通事故（道路）		1		1	1	3	6
18	交通事故（その他）							
19	動作の反動無理な動作		1	1	2	4	2	10
90	その他				3			3
99	分類不能			1				1

	計	3	21	54	44	50	30	202

事例数に2011年の東日本大震災の災害事例は含まれていない。死傷災害全数の約1/4の抽出事例数である。

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to https://www.jisha.or.jp/international/topics/202207_09.html